

みちしるべ

日本福音ルーテル教会
九州教区女性会

発行代表者 原 真理
編集者 樂 満 春 子
印刷所 ヤマダスピード製版

主題聖句

「そして、毎日ひたすら心を一つにして神殿に参り、家ごとに集まってパンを裂き、喜びと真心をもって一緒に食事をし、神を賞美していたので、民衆全体から好意を寄せられた。こうして、主は救われる人々を日々仲間に加え一つにされたのである。」使徒言行録2章46-47節

毎年、復活祭には、子ども達がエッグハンティング(卵探し)をしている教会も多いと思います。子ども達はそれが大好きで、友達と競うように卵を見つけようとします。そうした姿をこの教会でも、周りの大人たちは目を細めて見守っているのではないのでしょうか。

：一つの主イエスキリスの言葉を思い出します。「求めなさい。そうすれば、与えられる。探しなさい。そうすれば、見つかる。門をたたきなさい。そうすれば開かれる。」(マタイ7章7節)。

ここには、必死に主の恵みを探す姿勢が教えられていますけれども、ただの義務や命令ではありません。このイエスキリスの言葉は、あるかないか分からない、そんな不確かなものを探すのではなく、必ず備えられて



福 博
岡 西 多

み言葉の希望を探す

〜宗教改革五〇〇年の年に〜

教会牧師 池谷 考史

いる恵みを探すことと言えましょう。だからこそ、主イエスキリスは上の言葉に続けて、「あなた方の天の父は、求める者に良い物をくださるにちがいない」(同11節)と言われるのです。ですから、これは、恵みを探す喜びをもって生きることの教えです。ちょうど、エッグハンティングをする子ども達が、必ずエッグがどこかに隠されていると信じて、嬉々としてそれを探すように、期待をもって主の恵みを探すことが私たちには許されているのです。

ルターは、罪と悪の力にさいなまれ、希望を失ったとき、じつくり向き合ったのは聖書でした。その中のみ言葉に、人を生かす主の恵みを必死に探したのです。そこに根本的な解決があると信じて。

そうして彼は大きな希望に生きることができたのは、私たちがよく知っている通りです。

当時と時代は違い、価値観も、何もかも違う現代です。でも、人間は変わりません。変わらぬ人間のいのちに対して、聖書の言葉は今でも、変わらぬ恵み豊かな内容を持っているはずです。

すべてが簡単に理解できる言葉ばかりではないかもしれませんが、きつと、今のあなたに必要な恵みが用意されています。それを探すのは、隠れた宝を探す宝探しのようなものです。そう考えると聖書を開くのがいつもより楽しみになるのではないのでしょうか。

そして、本当にその宝を見つけることができたならば、ルターの得たような大きな喜びにあずかれるはずです。それは私たちの小さな、けれども、最も大切な宗教改革体験です。



2017年2月25日(土) 13時より室園教会にて

九州教区女性会の集い 拡大会長会と講演会(終の住処)



礼拝後、教区社会奉仕部長の内村公春兄より挨拶がありました。

昨年熊本地震のため延期になっていた拡大会長会も兼ねた「九州教区女性会の集い」には、十四教会五十九名が参加しました。開会礼拝では、まず、加藤麻衣子氏のオルガンに合わせ、讚美歌を皆でのびやかに歌いました。続いて西川晶子牧師の「御手の中を生きる」というメッセージより、震災を経てこうして集められていることを喜び、神様への信頼と希望をもって共に歩んでいきましょうと励ましを受けました。



拡大会長会では原会長から二〇一六年度の活動報告がありました。その後、会計の佐藤姉より決算及び監査報告、また震災義援金特別会計報告がありました。二〇一七年度活動予定については、来年二月の総会に合わせ発行予定の、信仰の証集「マイストーリー」の製作費用に、シルバープロジェクト基金を運用することが決まりました。また、冊子「いこいのみぎわ」の販売と活用状況について河野久美子委員より説明があり、この期の終了と共に「いこいのみぎわ」部門委員も終了することが報告されました。

九州教区女性会の集い(拡大会長会)会計報告

2017年2月25日 室園教会

24教会中14教会参加(36教会中 休会9・未加入3)	
会長会	46名+4名(内村先生・牧師・オルガニスト・受付応援)
講演会	56名+3名(牧師・オルガニスト・受付応援)

収支	科目	金額	備考
収入	参加会費	16,800	300円×56人
	プール制負担金	28,000	2,000円×14教会
	開会礼拝席上献金	41,150	
	会計集会費より補助	62,960	
	合計	148,910	
支出	交通費補助	74,980	9教会(熊本市外のみ)
	茶菓代	18,000	
	事務費	3,700	資料コピー代
	会場費	5,000	
	謝礼	6,000	牧師・奏楽者
	献金	41,150	宗教改革500年事業募金・ルーテル連帯献金各20,575円
	献金送料	80	
合計	148,910		



九州教区女性会・信仰の証集

「マイストーリー」 原稿募集中!

原稿の文字数を2,000字まで拡大しました。教会との出会い、ご自身のこと、信徒の皆さんとの思い出、ルーテル教会への思い出など、ご自由にお書きください。

締め切り: 2017年9月末
発行: 2018年2月末

詳しくは教会・所属の女性会までお訊ね下さい。

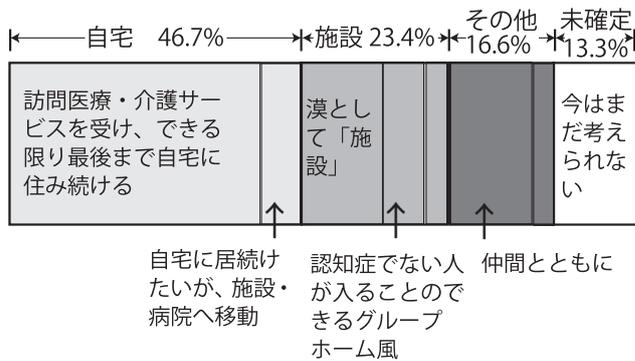


第3部は「終の住処」と題して、杉本範子姉を講師に迎え講演会が行なわれました。高齢者の終活に関する課題や情報を分かりやすく紹介し、「人生の最後を過ごす場所としてどのような住まいがあるのか」「住み慣れた自宅に住み続ける場合、どのような工夫が必要なのか」など、具体例を挙げて話されました。また最後に、空き家を活用したシェアハウスの可能性について説明があり、教会としての取り組みが提案されました。参加者からは、「親の介護真っ最中で、タイムリーな学習だった。このような学びを今後も継続して深めていきたい。」との意見が出されました。

終の住処についておたずねしました！

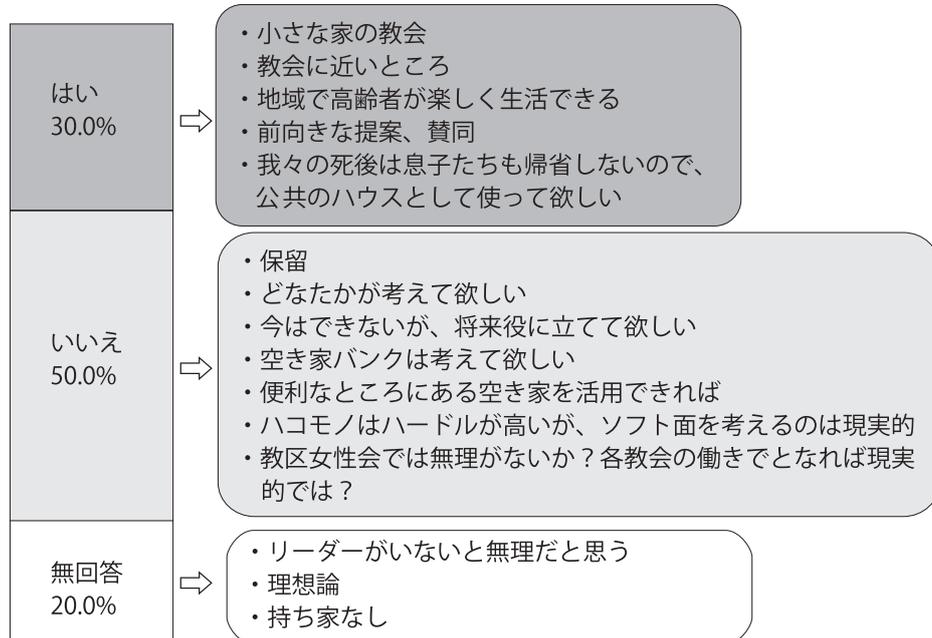
アンケートにご協力感謝。アンケートにご回答くださった方は、30名でした。以下がその結果です。 分析担当 杉本範子

1. ご自分の終の住処をどのようにお考えですか？



- 2. シルバープロジェクトの今回の提案について何かご意見がありましたらご自由にお書きください。
- 3. 空き家を使った「居場所」作り、シェアハウスに関してご自分の家等を使ってやってみたいと思われませんか？

⇒ 3の回答（シェアハウスの賛否）から、2の自由記述の分類を試みた。





「奉仕」という言葉のとらえ方について

考えてみませんか？

九州教区女性会の歩みは、宣教開始当初、各教会での礼拝における女性の奉仕から始まったと考えられます。沢山の女性会員が、これまでのルーテル教会の様々な活動を支えて来ました。しかし近年は、高齢化等による会員数の減少に加え、厳しい経済状況、仕事や育児・介護のため、何とか教会に繋がっているという方も多いのではないかと思います。

九州教区女性会の目的とは？

第1章 第3条 (目的)

本会は、所属女性会・婦人会、壮年会、青年会相互の親交を深め、協力して神に奉仕する事を目的とする。

奉仕とは？

奉仕(service) = ①つつしんでつかえること。②献身的に国家・社会のためにつくすこと。③商人が客のために特に安価に売ること。サービス。

(広辞苑より)

「女性会の目的」は「神に奉仕する事」ですが、この「奉仕」という言葉を聞いて思い浮かべるのは、「勤労」「働き」「ボランティア」などの言葉ではないでしょうか？

私達は女性会員である前に1人の信徒であり、各教会において様々な仕事や役割を担っています。私達は歳を取って身体が思うように動かなくなり、何も出来なくなったと感じる時、この「奉仕」という言葉のとらえ方により、女性会員でいることが辛くなるのではないかと想像します。そして、この「奉仕」という言葉を今、重荷に感じている方もいらっしゃるのではないかと思います。

しかし、「奉仕」は英語で Service (サービス) = 「礼拝」の意味も持ちます。まず、神様が私達を導いて下さり、私達に奉仕をして下さいました。

「奉仕」は私達を「生かす」ものなのです。

女性会の目的や奉仕という言葉のとらえ方など、ぜひ話し合ってください。女性会会長までお届下さい。

「私には何も出来ないから」と女性会から遠ざかってしまった方、「女性会の交わりに参加したい」と思っても、教会に通うのが精一杯で、奉仕をする余裕までは無いという方が、もっと気軽に女性会に参加出来るようになるためにも、女性会の目的の「奉仕」という言葉のとらえ方について、皆さんで考えてみませんか？九州教区女性会が、これからも神様の恵みを分かち合う場として存在出来るように。



春の全国ティーンズキャンプ報告高尾の森わくわくビレッジ
3月28～30日

春キャンの思いで 箱崎教会 深町 優太 (高2)

(前略) 今回はルターの宗教改革 500 年の為、テーマは「ルター」であった。実際にルターがやった事、思っていたことなどをスタッフの人たちが実演をし、それを通してルターの事をよく知る事が出来た。グループ内でなぜこのような事をしたのかとか、自分だったらどうしたかなどしっかり自分の意見や人の意見などを分かちあい、共有できたと思う。普段学校などで考える事とはまた違う経験であり、また数学や英語などとは違う、心についての話や自分の気持ちなどがわかった気がする。こういうことは、春キャンだからこそ話せるのであり、本当の気持ちというのを言える事が出来るのだと思う。本当に今回春キャンに行けて良かった。(中略) 春キャンに携わって楽しくしてくださった方々に心から感謝します。ありがとうございました。

**熊本YWCA「福島&熊本キッズ
春のわくわくキャンプ」活動紹介**

熊本教会 江崎 啓子



作り、運動場での
“蹴るアイス”では、
出来たばかりのアイ
スクリームを楽しみ、
熊本のキャラクター
“くまもん”とかけっこ

熊本YWCAでは 2011年3.11東北大地震・津波・福島原発事故を経験した福島の子も達を支える活動をしています。熊本地区の女性会からも献金や物資の支援をいただき感謝しています。日常的に放射能の危険にさらされている福島の子も達に、一時でもその環境から離れた場所でストレスと不安から解放され、心も体もリフレッシュできればと云う思いから始めたキャンプです。実際福島の子も達が“草にさわって良いの?”という言葉を口にした時、何か心が痛む思いでした。いくら除染しても木の高い所や、山に積もった放射能は雨によって低い所に流れてきて、草や土に一番影響が出ると思います。土にさわって・木の香りを楽しんで・草に寝転がってという子どもの遊びをのびのびとさせたいその思いから、福島からはかなり遠い熊本の地に福島の小学生達(1年生～6年生)を毎年15名弱招いています。熊本の子も達も同数で募集しています。小学生達は5班に分けて、各班に大学生のリーダー2～3人がつきます。そのためには準備のミーティングを1年かけて場所の選定などから始め、開催が近づくに連れて内容濃く準備を進めます。私たちシニアもその準備会に参加し、お袋役をしています。キャンプ中は食事班となります。

第1回目は2015年3月25日～29日まで、熊本市隣接の合志市にある学園大学合宿所を会場に行いました。ちょうど桜が三分咲きで始まったキャンプで、それぞれのチームの旗を枯れ枝や布を使って

をしたり、イチゴ農家でのいちご食べ放題も楽しみました。終わりには桜が満開になっていました。

第2回目は天草ロータリークラブの協力を頂いて、2016年3月25日～29日竜頭山みどりの村を会場に行いました。天草下島ならではの観光をしました。北ではイルカウォッチング、南ではグラスボートと目いっぱい思い出を作りました。そのキャンプが終わって、まだホッとする間もなく熊本大地震が起こったのです。キャンプ中でなかったことは本当に感謝でした。

今年もキャンプやりました! JRと国道57号線共に大規模崩落により分断された地域にありながら被害を免れたYMCA阿蘇キャンプ場をお借りしました。阿蘇赤牛のバーベキューを楽しんでいる時にはあられ・みぞれ・雪と雷まで鳴り大変な時を過ごしましたが、子ども達はそんな中でも元気に走り回り、福島・熊本の友情を育てていました。本当なら、ルーテル阿蘇山荘を予定していたのですが、大橋崩落の現場から近いところで被害もひどく、まだ今後の予定も立っていないようで本当に残念です。復興を心から祈りつつ、被災した子どもたちの心のケアと命を守るためにも、できる限りこの保養キャンプは続けたいと願っています。女性会の皆様のご協力、ご支援、今後ともどうぞよろしくをお願いします。



九州教区女性会 2016 年度決算報告・2017 年度予算案

科目	2016 年度			2017 年度		
	予算	決算	備考	予算案	備考	
取 入	1 教区会費	360,000	377,400	361,200(前) 16,200(後)	378,000	1,200円×315名
	2 みちしるべ講読	21,400	21,600	20,200(前) 1,400(後)	21,600	200円×108部
	3 感謝献金	160,000	154,000	72,800+79,200+2,000	150,000	
	4 席上献金	30,000	0		20,000	会長会
	5 シルバープロジェクト献金	0	15,000	13,000(前) 2,000(後)	0	
	6 預金利息	63	25		25	
	7 雑収入	0	0		0	
	8 前年度繰越金	319,689	319,689		360,728	
合計	891,152	887,714		930,353		
支 出	9 役員会費	70,000	29,390		50,000	会場費3,000円×6回 交通費5,170円×6回
	10 会長、役員活動費	100,000	35,158		50,000	監査・常議員会他
	11 通信費	45,000	22,135		45,000	ひびき発送含む
	12 事務消耗費	40,000	2,723		15,000	封筒印刷他事務用品
	13 みちしるべ印刷、発行	130,000	113,794		130,000	
	14 集会費	85,000	0		200,000	会長会・学習会
	15 慶弔費	20,000	12,046		20,000	
	16 支援費	200,000	200,000	ティーンズキャンプ・こども キャンプ・中学生キャンプ・ 青少年修養会	200,000	継続4件 各50,000円
	17 指定献金	50,000	0		60,000	ルーテル連帯献金・ 宗教改革500年募金
	18 シルバープロジェクト指定	0	15,000		0	
	19 連盟総会旅費補助積立	50,000	0		100,000	2016年分加算
20 予備費	101,152	96,740		60,353		
21 次年度繰越	0	360,728		0		
合計	891,152	887,714		930,353		

主な活動報告

- ・常議員会陪席
1/24 教区事務 3/13 合志教会
4/25 教区事務所 6/ 6 唐津教会
- ・役員会 (第9回,10回)
1/28 熊本教会 5/27 室園教会
- ・九州教区女性会の集い
2/25 室園教会
講演「終の住処」 杉本範子先生
- ・福岡地区女性の集い
5/20 博多教会
講演「信仰の法則 - ルターと
宗教改革の精神」 坂井信生先生
- ・甘木教会宣教百周年記念礼拝 6/3
- ・室園教会宣教70周年記念礼拝 6/4
- ・会計:
地震義援金配布作業、決算報告書作成、
会計監査 1/21、文書発送 4/21、
連盟前期会費納入 5/29
春の全国ティーンズキャンプ支援(5万円)
- ・女性会連盟担当:
役員会 第6回 1/31 ~ 2/1
第7回 5/10
第8回 7/ 1
総・大会現地実行委員会① 7/1
- ・女性会連盟合同役員会 5/11 ~ 12
ルーテル市ヶ谷センター・東京教会
- ・第101号「みちしるべ」発行
発送作業 7/12 久留米教会

2017年1月21日に日田教会 綾垣節子姉・田主丸教会

長澤キクヨ姉により監査が無事終了致しました。

2016年12月末会計台帳残高は以下の通りです。

■一般会計 360,728 ■連盟総会旅費補助積立金 269,882

■シルバープロジェクト基金 1,138,070

連盟へ前期会費等送金一覧

連盟会費	303名	787,800
会報講読	89部	44,500
連盟献金		51,900
感謝献金		66,300
TNG		33,900
サバ神学生		85,500
リースコイン		10,858
ACWC署名キャンペーン		3,500
合計		1,084,258

九州教区女性会前期会費等入金一覧

教区会費	303名	363,600
みちしるべ	93部	18,600
感謝献金	15教会	90,500
シルバープロジェクト	4教会	10,000
合計		482,700

編集後記 いつもお祈り下さりありがとうございます。10月29日(日)宗教改革500周年記念礼拝後、会長会を行います。会長または代理の方はぜひご参加下さい。議案は来年の総会の準備についてなどです。

ご召天

吉見 高子姉	92歳	水俣教会	2015年11月 2日
長谷場チク姉	104歳	熊本教会	2016年 1月20日
谷口カズ子姉	89歳	水俣教会	2016年 5月13日
竹田 祐子姉	66歳	神水教会	2016年 6月 8日
武藤 孝子姉	105歳	神水教会	2016年 6月15日
和田 晴子姉	94歳	箱崎教会	2016年 7月30日
富永 峰子姉	65歳	神水教会	2016年 8月 2日
坂田 富貴姉	94歳	八代教会	2016年10月15日
越村 幸子姉	88歳	博多教会	2016年11月19日
田代 恵美子姉	87歳	熊本教会	2017年 2月 3日
今福 三枝姉	98歳	室園教会	2017年 3月16日
国武アイ子姉	98歳	久留米教会	2017年 4月 2日
松本 幸子姉	90歳	箱崎教会	2017年 6月10日

ご家族の皆様のおえに、主の慰めがありますよう、お祈り申し上げます。

*震災後の混乱のため

ご報告が遅れましたこと、ご了承下さい。

